

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)
楠の若葉萌しや光り合ふ
もう少し走りさるかな春時雨
野すみれや割れ目に群れて律儀なり
いつ頃犬ふくりとは誰が名付けし
春時雨濡れて帰路なり傘忘れ
帰り道季節にころいぬふぐり
パンジーの寄せ植をかく犬ふぐり
薫風やふくろむ封書押さへても
宝愛句らぶ (中央区)
朝掘りと筒売りの声弾む
満ち満ちて降ってくるなり桜花
幼子のゆれるブランコ母の膝
菜の花や海光浴びて華やげる
ぶらんこ板天突く様に漕ぐ兒かな
菜畑の帽子が走る迷路かな
鞆や癒しいやされ里心
梅の美会 (兵庫区)
新緑や退院の日を喜びて
小春日にランドゴルフ姥走る
春場所や部屋布団のカラフルさ
野の花に話しかけたる五月晴
何事も無きかのように鯉のぼり
高原ささゆり会 (北区)
緑陰を通り抜けるや風小僧
散歩路に蔽くれたる嬸かな
葱坊主油のなかで花が咲く
鼓草吹いて風読む散歩道
夏めくや二の腕白く眩しくて
遠き日の夫との見合い柏餅

朋子 比佐美 早智子 美恵子 扶喜子 里子 松子 恵 和子 悦子 千枝子 道子 和志 啓臣 山口 茂子 藤田ユイ子 岡田富早恵 山田 朝子 栗野 富江 松村二三枝 中井 裕子 佐藤かなめ 南 久美子 若林 節子 笠井 照子

ひまわり句会 (北区)
花菜風洗車に小躍する兒かな
温暖化一足飛びに真夏日に
ひよどり台句会 (北区)
熊野川川べりの土手猫柳
ひな流しふるりの海にぎわいて
孫の顔母に似てきし春うらら
路地中へ紅梅吹雪華やげる
北斗句会 (北区)
結界の石橋渡る入り彼岸
積尊の御身小さき花御堂
術前の検査あれこれ花は葉に
病癒え街へ買い物春シヨール
苗木市長き講釈聞き流す
あの時のあの日は遙か春シヨール
目が合ふて一鉢求む苗木市
まだ寝てるもう寝たんかよ老いた春
卒業を待つて口紅友と買ふ
見山台新樹会 (北区)
柔らかな柿の葉眩し雨上り
万緑や歓喜の歌をパレットに
飲まずとも熟女に酔って花見かな
手入れなき庭に牡丹つぼみ2個
八十路すぎまだ生きてるぞと花見酒
山椒の芽摘みて朝餉のすまし汁
水ぬるむ散歩に重きブーツ穿く
桃山台クラブ文芸部 (垂水区)
抜け前歯挟まる笑顔かな
特訓の成果聞かせるホーホケキョ
◆個人
デジタル化孫の帰省を心待ち
新鮮な初夏を並べる直売所
尾道のごろご坂や東風と歩む
一昨日より山の笑ひの濃かりけり (北)

石井 敏子 辻 寿賀子 塩見 光子 田中 弘子 筒井 豊子 中井 光子 脇坂有多子 久松 礼子 増田 嗣夫 秋山 弘之 岸下 正二 松本 洋子 黒田 久江 小段 安徳 藤井久美子 松隈 弘子 貞永 弘子 高石 勝行 丸尾 嘉子 藤田 和夫 佐溝満喜子 石本 宏一 田畑美恵子 大上 昭敏 北田 建樹 山上 幸子 都倉 知子 馬場みつえ

すべり台すべる子を受け花吹雪
子供の日腹一杯の白い飯
春嵐荒波を砕く東尋坊
クレマチス新緑の中咲きほこる
川柳
桂木ひふみ会 (北区)
ブランコでじいさん何を思ってる
お互いの下手な芝居を笑い合う
秒針がはやくはやくとせかす音
おしどり夫婦二人芝居の息ピタリ
急いでも時は短くなりはせぬ
筑栄会 (北区)
パリのカフェ歩道占拠で酒たばこ
源氏名を店を出る時もう忘れ
今朝もまたぼっちコーヒーもう五年
名店の香りも至極こはく色
旧姓で呼ばれ懐かし同窓会
健康は歩く習慣で担保する
愛犬と仲良く走り一休み
ウォーキングマシンが今は物掛けに
◆個人
一人御飯汁三菜いつたべた
なにかを捨てる勇気を持つことなり
洗濯機俺の過去まで洗えるか
へなぶり
義母も夫も症状違う認知症
若いと介護何のそのだが (北)

山田キミ子 福本 和恵 木村 敏博 芝田 律子 荒木 宗Q 京念久美子 笹岡 淑子 杉尾 悦子 大和ケント あきら かほう かずを 勢似 まさこ 三茶 よし おおる 増田 芳之 北野 利一 小高 肇 清水 久子

◆個人
七夕の願いをこめて短冊に離れた君にも一度逢いたい
にぎやかに白いコブシが咲いてます春が来たよと山をにぎわす
満開に命の限り咲きほこり夜半の風に桜散りぬる
春陽が枝に花満ち溢れさせ人は笑顔で花見楽しむ
頼れるはわが心身の健全さ先づ二杯の白湯をいただく
菖蒲湯に浸ければ父母の笹子マキは店での風情愉しむ

◆個人
七夕の願いをこめて短冊に離れた君にも一度逢いたい
にぎやかに白いコブシが咲いてます春が来たよと山をにぎわす
満開に命の限り咲きほこり夜半の風に桜散りぬる
春陽が枝に花満ち溢れさせ人は笑顔で花見楽しむ
頼れるはわが心身の健全さ先づ二杯の白湯をいただく
菖蒲湯に浸ければ父母の笹子マキは店での風情愉しむ

朝岡 俊之 眞木香代子 箱守喜久子 江口 啓子 増田 當代 吉野 洋子

短歌

花山短歌会 (北区)

アスファルト割れて花咲くはこべ草白く小さく天使想わす
この春は何をしてたか気が付けば大好きな土筆のことも忘れていたり
種子屋久の海峡はるか冠雪の心のふるさと宮之浦岳
朝歩き空気が澄めば気持ちよく楽しみながら歩く楽しさ
ガラス越しやさし光のうす紫レモンの花は静かに咲いた
車窓より見ゆる河口の水昏れて塩屋の浜の赤き灯台

船崎めり子 山田加壽代 富田 夢助 磯元カヨ子 清水 恵子 古林 保子

◆個人

七夕の願いをこめて短冊に離れた君にも一度逢いたい
にぎやかに白いコブシが咲いてます春が来たよと山をにぎわす
満開に命の限り咲きほこり夜半の風に桜散りぬる
春陽が枝に花満ち溢れさせ人は笑顔で花見楽しむ
頼れるはわが心身の健全さ先づ二杯の白湯をいただく
菖蒲湯に浸ければ父母の笹子マキは店での風情愉しむ

朝岡 俊之 眞木香代子 箱守喜久子 江口 啓子 増田 當代 吉野 洋子

市老連HPもぜひご覧ください!

神戸市老連のホームページには、シニアライフをもっと楽しく、健康的におくるための情報が充実!
QRコードからぜひチェックしてみてください!



とっておきの作品



「バラの花」【中央区】 二宮新栄クラブ 朝岡 俊之



「切り絵はがき」【中央区】 相川寿会 高橋 洋子

◆投稿募集

文芸欄への投稿をお待ちしています。皆さまの作品をお寄せください。
作品、住所、電話番号、単位クラブ名、お名前を必ずご記入ください。
(投稿先)
〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1 KOBEシニアクラブ事務局 (広報紙〇〇係)
FAX 341-8524
※〇は俳句短歌川柳へなぶり等

「とっておきの作品」募集中

会員の皆様から絵はがき&色紙絵を募集しています。必要事項を記入したものを同封の上、作品をお寄せ下さい。
《必要事項》
①氏名(ふりがな) ②クラブ名 ③題名 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
※葉書サイズ(100mm×148mm以内)・色紙サイズ(242mm×272mm以内)をお願いします。それ以外は受付できません。
※作品は随時ご返却いたしますが、長期間お預かりする場合がありますのでご了承ください。
※作品は丁寧に扱いますが、損傷については理由のいかんに関わらず、一切の責任は負いません。
《宛先》〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-1 KOBEシニアクラブ「とっておきの作品」係

あしがき

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。暑さが厳しい夏本番がやってまいりました。何よりも体調にはくれぐれもお気をつけください。熱中症対策や涼しい過ごし方なども取り入れて、無理せずお過ごしください。皆様のお声を大切に、これからも様々な情報をお届けしてまいります。次号もどうぞお楽しみにお待ちください。